

講演会

マルギット・ユーリカス先生

(タリン大学文学部日本文学専攻)

「エストニアにおける日本文学受容について」

日時 2015年11月12日(木) 14:40-16:10

場所 埼玉大学全学講義棟2-402

北ヨーロッパに位置するバルト三国の一つ、エストニアと日本の間の交流は十九世紀までほとんどありませんでした。そのため、日本文学ならびに日本語への扉は長らく閉ざされていました。

二十一世紀の今日、エストニアでも日本文学を研究する人々がいます。アニメや漫画に代表されるサブカルチャーへの関心から日本語を勉強し始める学生たちもいます。タリン大学では日本語・日本文学は人気科目になっています。

この度、エストニアの日本文学研究者マルギット・ユーリカス先生をお招きし、エストニアにおける日本文学の翻訳と紹介についてお話を伺います。西行、芭蕉、芥川、三島、大江…と幅広く研究・翻訳を手掛けておられる先生に「エストニアの日本学」最前線をお話していただきます。

(使用言語・日本語)

講師紹介 マルギット・ユーリカス。エストニア人文大学卒。2003-2006年、学習院大学大学院に在籍。2010年からタリン大学文学部講師。狂言研究、西行研究の他に、芭蕉、芥川、三島、大江などの作品を精力的に翻訳・出版している。エストニアの日本文学研究の若手第一人者。

※本講演会は埼玉大学の授業「ヨーロッパ文学・文化概説」の一環として行われますが、一般学生、教職員、地域の方々にも公開して行われます。予約は不要ですが、席に限りがございますので予めご了承ください。

本講演会は日本学術振興会科研費プロジェクト「世界文学と人文教育—理論的検討と教育現場での実践」の社会発信活動の一部です。

連絡先：埼玉大学人文社会科学研究所・野中進

電話：048-858-3042

メール：nonaka@mail.saitama-u.ac.jp